前回の課題文章につけられた吹き出しコメントを読んだ。→はい　いいえ　未返却　読めない\*

＊スマートフォンやタブレットでは、吹き出しコメントが表示されない場合があります。その場合はパソコンで確認してください。

前回の模範文章を読んだ。→はい　いいえ

（当てはまる回答だけを残してください。評価には含めません。指導の参考にします。）

【第６回】

参考文献

1A193008

アンダーランド　ジェイク

川端健二・田代克久・水口裕之（2010）「iPS細胞への遺伝子導入を用いた分化誘導の最適化」『YAKUGAKU ZASSHI』第130巻11号、pp.1527-1534

厚生労働省ホームページ「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則（厚生労働省令第110号）」<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000065532.pdf> （2019、4月14日閲覧）

後藤一也（2019、3月7日）「細胞の汚染　AIで手早く検査－再生医療のコスト削減に　阪大などのチーム開発」『朝日新聞』朝刊、大阪本社版、13版、23面

スラック, ジョナサン・マイケル・ウィンドハム（Slack, Jonathan Michael Wyndham）（2016）『幹細胞－ES細胞・iPS細胞・再生医療』（八代嘉美訳）岩波書店（原著は2012）

ドゥボール, ギー（Debord, Guy）（2003）『スペクタクルの社会』（木下誠訳）筑摩書房（原著は1967）

山中伸弥・中内啓光（2008）『再生医療へ進む最先端の幹細胞研究－注目のiPS・ES・間葉系幹細胞などの分化・誘導の基礎と、各種疾患への臨床応用』羊土社

作業　できていたら□を黒く塗りましょう。

　（四角を黒く塗る方法　「しかく」と入力し、「■」に変換する。）

■　論文や記事の題を示す括弧と本や辞書や新聞の題を示す括弧を正しく使い分けた。

■　訳本の場合、外国人の名前は、読み方、綴り方とも表記した。

■　論文や記事は冊子中の掲載ページを示した。

コメント欄

課題の指示に従って参考文献を作成しました。また、WINEから加えた書籍は、自分の思い入れのある書籍にしました。こうすることによって、今まで注目していなかった出版社や出版年、訳者と訳のでた年などに気を向ける機会になりました。

評価のポイントと評価点　　　　　　　　　　　　　　　　　指導員（　　　　　　　）

〔　13 点中　 　　　点〕